

観点・小問ごとの分析	対 策 の 視 点
<p>にていての正答率は、それぞれ67%、68%、64%である。</p> <p>「労働時間の短縮と品種改良」、「減反政策と自然災害」、「兼業農家の増大と米の政府買上げ」を、関連させて答えた誤答例が目だつ。</p>	<p>について追求していく習慣を、身につけさせたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指導の際、身近な地域の農家の事例をもとに、日本全体の農業のようすを理解させる方法をとると効果的である。
<p>3. 近代工業を支える条件と生活場面の事象との関連についての思考</p> <p>市場の確保と拡大についての正答率は45%であるが、他の4項目は53～64%である。</p> <p>「原料の確保」と選択肢「イ」、「用地・用水の確保」と「オ」、「新製品や技術の開発」と「ア」、「市場の確保と拡大」と「イ」「ウ」、「輸送機関の発達と道路の整備」と「エ」を、それぞれ関連づけて答えた誤答例が目だつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 工業生産を支える諸条件を具体的に理解させるとともに、工業製品が国民生活の向上にはたしている役割について、日常の生活場面でもとらえさせたい。 ○ 環境の保全や資源の有効な利用について具体的事例を通して指導することは特に大切なことである。 ○ 資源については、世界的立場に立って考えさせる指導が望まれる。
<p>4. 伝統的な工業と近代工業の比較・弁別についての思考・判断</p> <p>伝統的な工業は新学習指導要領で取り上げた新しい内容である。それぞれの正答率は工場の規模と生産量57%、原料と技術62%、製品と産地67%、作り方と人々の生活64%である。</p> <p>誤答例としては、近代工業の特徴に関する選択肢を選んだものが多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 古くから伝わっている技術を用いた生産活動である伝統的な工業の事例は、県内においても見られるので、具体例を通し、その特色を近代工業と比較しながら考えさせることが大切である。 ○ 人間の技術を生かし、道具を用いて生産する伝統的な工業の製品が、多くの人々に好まれているという今日的な意味も考えさせたい。
<p>観点③（社会的思考・判断）について</p> <p>国内の貨物輸送、稲作農業の動き、近代工業を支える条件、伝統的な工業の特徴について思考し、判断する問題であるが、観点③の平均正答率は59%である。</p> <p>社会的思考・判断力を養う根底には、知識、理解、技能が、大きな役割を果たすと考えられる。社会的事象を総合的に判断する習慣を身につけさせ、事象の原因や背景を探ることができるようになる学習訓練が必要である。</p>	